

2005年3月15日発行

ぷろす

四季の会・ユーザーズ・サービス

189号

発行人 浅沼 邦夫

拝啓 会計事務所の最大のイベント「確定申告」のフィナーレを迎えました。先生におかれましては何かと「良い思い」を残されたものと思っております。また、この時期に各地で寒波におそわれ、心からお見舞い申し上げます。

今や「弱肉強食・下克上」の戦国時代に！新聞やTVなどをみると或る日、我が城を敵に囲まれ逃げ道がなくなる。人生に3つの坂あり、「上り坂・下り坂・まさか」。その「まさか」「まさか」の時代である。トップは危機感ではなく、恐怖感がなければ生きられない時代背景。それには「ビジョン」を明確に持ち「気づきと実践」が大事だと思う。「生きているだけで丸もうけ」NHK「わかば」で「おばーちゃんのおぐせ」である。人生にも、企業にも、大事なことばと思えるのです。

プロス20周年を振り返ってみて！

プロスは、ミッション 与えられた任務・バリュー 守るべき価値・ビジョン 将来への勇気と希望 このような信念のもと日々の活動を続けてまいりました。

決算には素晴らしい思想がある。税理士は「税理士の職業の特長を生かす」ことは成功の根本です。私は、(株)浅沼経営センターの幾多の課題への挑戦。その成功体験をシステム化し、「社長の四季」へとつながり、(株)プロスを創業することが出来ました。

私も、かつて「青い鳥」を探してみました。しかし、青い鳥は足許にあった。基本業務です。基本業務こそ最大の商品だと思います。3つの課題を挑戦してきました。

「収入増大」固定収入を増やす。

「新規拡大」お客様を増やす。

「人材育成」人が中心。仕事の中にこそ成長する。

お客様のことを考えていれば、「ああしたい、こうしたい」が生まれてくる。それを思っているだけでなく、「形にしたい」「モノにしたい」。これが私の「社長の四季」の原点だったのです。

振り返ってみると、「法人確定決算時」に社長は「もの足りなさ」を常々感じていました。社長は「決算に関心」を持っているのに、私は何もできなかった！何かが欲しい！ここに何か「チャンス」があるのではないかと感じていました。

その時、「経営診断分析手法」等を読んでみた。決算時に数字を分析し、収益性などにまとめてみる。社長に経営に役に立つ提案ができるかも知れないと思った。「決算分析」を行い、文章でコメントをつけてみた。決算時に社長は「よくわかり経営に役立つ！」「よくやってくれる！」と思ってくれるようになったのです。

正に、今までにない社長との「決算時のコミュニケーション」が出来るようになった。決算の「意味と感情」が伝えられたのです。これが「社長の四季」システムのスタートでした。

はじめは全て、手書きで「一生懸命」書き、提案しました。それから時代が大きく変わり、今のパソコンの時代になった。「文章や課題が全部コンピューターで簡単に出来て」「会計担当者なら誰でも出来る方法」で「決算が楽しく」なって来たのです。

人間が出来ることは、パソコンで全て可能になりました。大事なことは仕事に感動を持たせることです。社員は仕事の中でこそ成長していくのです。社長から学ぶことが多くなった。コミュニケーションがあるからです。自信と信頼。お客様第一主義。営業力を身につけていく。お互いで無理が言える世界こそ「お客様を紹介して下さい」「報酬を上げて下さい」ということになり、「お客様を増やすこと。付加価値を上げることができたのです。大事なことは「今のお客様を大事にすることです」「手をかける」「心をかける」。常に感動を持たれるのです。必ず出来るのです。

「決算こそ会計事務所にとって最大のビジネスチャンス」です。会計事務所の「永遠の3つの課題」に挑戦し、現在の(株)浅沼経営センターを創ることが出来たのです。

決算は会社の根っこ 相田みつを先生は足利です

書家、相田みつを先生は、足利市の生まれです。(株)プロスの会計事務所経営セミナーで御講演をいただきました。「出遣いが人生を根底から変えることがある。出遣いを大事に！」と「人生と仕事の生き方」を勇気づけていただきました。(株)プロスは、それを心に刻みながら「社長の四季」を続けてまいりました。

樹木を支える根。根は見えねんだなー。「根っこ」は「決算」。「決算こそ会社の根

っこ」です。

花を支える枝 枝を支える幹

幹を支える根 根は見えねんだなあ

私はこの詩が当時から心の支えになってくれました。「枝・幹・根」は会計事務所の3つの柱であるのです。「会計・税務・診断」と同じです。とくに「根」は診断です。「根っこは決算診断」です。決算診断は会社の生命線の全てを物語るようです。「根っこ」は会社の大事な生命線を根を張って大きく守っているのです。そのくらい「根っこ」は会社の生命線が、「決算診断提案書」にあるのです。

「決算診断」には素晴らしい思想がある。

「決算診断は会計事務所の最大のビジネスチャンス」。「決算診断は会計事務所の最大の商品」です。「決算診断は社長と会計事務所の所員の最大の教育」であるのです。

私は、相田みつを先生の詩の中の「或る日のつばやき」私の心をえぐるような「ことば」でした。私はかつて自分中心であった。これでいいの！このままでいいの！大きな反省になりました。

或る日のつばやき - 切り捨てる -

わたしは長い歲月
上にのびることばかり考えてきて
土の中深く根を張ることを
忘れていたようです

ヒョロヒョロと
幹ばかり高くのびて
雑然と枝葉がひろがるようになった時
幹や枝葉の重みに耐えられない
根の弱さに
わたしは初めて気がついたのです
気がついた時には手おくれでした
手おくれとわかったとき
わたしは思いきって
枝葉をおとすことにしました
土の中のわたしの弱い根と
細い幹に支えられるだけの
わずかな枝を残して
あとは、ぱっさりと切り捨てました

それは
根の弱い 幹の細い 力のない者が
なんとか自分を守りながら
生きてゆくための
消極的な、しかもそれなりに
勇気のいる生活の智慧でした

とはいうものの
枝葉をおとす時 わたしは
やっぱりさびしい気がしました
もったいないなあと思いましたが
しかし おかげさまで いまでは
眼に見えない土の中で
弱かった根が新たな活動を始めたよう
です 枝葉を切り捨てた分だけ
いや、それ以上かも
だれにもわからない根だけが知る
静かな充実感を持ちながら.....